

平成 29 年度地域活動事業部 第 1 回研修会(報告)

主 催 (公社) 熊本県栄養士会 地域活動事業部

日 時 平成 29 年 6 月 10 日 (土)

会 場 名 (公財) 熊本県総合保健センター3 階中研修室

◇講演 I 「糖尿病食品交換表活用の実際」

社会医療法人黎明会 宇城総合病院 栄養科長 野村千津子氏

内容: 初診時の食事指導のポイント
食事療法の進め方
糖尿病腎症の食事交換表適用時期

野村先生ご自身の病院での長いご経験を踏まえてのご講義でした。交換表の特徴とその活用法を中心に、実際に患者さんと接する中での説明の仕方や、工夫点などを分かりやすく説明していただきました。糖尿病の交換表と糖尿病腎症の関連性についても解説いただき、腎症交換表への移行時の留意点なども学ぶことができました。最後には「食事療法と運動療法」のカンバセーションマップを使つての話やまとめのクイズも織り混ぜていただき、患者さんの気持ちを考えながらも、知識を深めることができました。今後、地域において活動する中で、しっかりと活用したいと思いました。

◇講演 II

①「熊本地震における行政栄養士の活動と課題」

宇城保健所 保健予防課参事 管理栄養士 代々耕治氏

内容: 1. 宇城管内の概要
2. 熊本地震の状況
3. 熊本地震での保健所の支援体制
4. 被災者への栄養・食生活支援活動
5. 今後に向けて

②「熊本地震における行政栄養士の活動と課題」 ～宇土市保健センターでの活動

したこと・助けてもらったこと～

宇土保健センター 健康づくり課 健診推進係 参事 管理栄養士 児玉聡子氏

内容: 1. 被災状況
2. 活動全体の概要
3. 発災直後(フェーズ 0～1)
4. 発災後 2 週間(フェーズ 2)
5. 発災後 2 週間～1 か月(フェーズ 3前半)
6. 発災後 1 か月～1 か月半(フェーズ 3後半)
7. 発災後 1 か月半～避難所閉鎖(フェーズ 4～)
～したこと(事実)・助けてもらったこと(支援)を中心に～

今回は県民・市民の支援対策の根幹となる行政（保健所・市健康センター）の栄養士の先生に発災直後から今日までの取り組みの状況をご講演いただきました。目的は、行政の取り組みに対する理解と、私たちの活動をふり返ること、また、残された色々な課題を把握し、今後の活動内容を検討していくことなどでした。管理栄養士・栄養士の立場として、また県民のひとりとして、保健所や保健センターでのたくさんの方の支援があったこと、LINEを使用した情報発信活動などを知る機会となりました。実際に提供されたお弁当の写真や、炊き出しの様子、避難所の衛生対策などの写真も紹介され、支援現場の様子がよく分かりました。

今回、改めて災害対策の必要性を再確認し、今後に向けての考え方や必要な情報も得ることができました。日々の活動に生かしたいと思いました。

